



第12回 あおいセミナー

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」若手研究者育成プロジェクト

ヴェルサイユで出会った スピנקロスオーバー現象

日時

平成 1/19 (火)
28年 16:10-17:40

会場

図書館3階 視聴覚室

講師 | 村岡 梓 氏



日本女子大学 理学部数物科学科 講師

日本女子大学附属豊明幼稚園から大学までの一貫教育を受ける。

日本女子大学理学部数物科学科を卒業後、同大学大学院 数理・物性構造科学専攻に進学。東京大学大学院総合文化研究科博士課程にて学位取得。その後、フランスの Université de Versailles Saint-Quentin-en-Yvelines (ベルサイユ サン・カンタン・イベリン大学) 博士研究員、明治大学理工学部 物理学科 助教、東京大学大学院工学系研究科 JST、CREST 主任研究員を経て、2015年より現職。

<< 研究内容 >> 物質の電子状態を第一原理計算により解明し、分子物理・分子物性の理論的研究を行っている。

概要 |

鉄2価白金シアノ錯体結晶は、反磁性的な低スピン状態と、常磁性的な高スピン状態の間で、温度、光、磁場、圧力などの外場により顕著な双安定性のスピנקロスオーバー (SCO) 現象を起こします。本研究は、錯体間の相互作用にイジング模型を取り入れたモンテカルロシミュレーションを用いて、2次元構造の SCO 錯体ナノ粒子の相転移のサイズ効果及び表面効果に着目し表面のスピン挙動のモデル化を試みました。

ヴェルサイユで出会ったスピנקロスオーバー現象の研究に加え、フランスのポストドク時代の経験談や、女子学生の今後への期待を踏まえた自身のキャリア形成について、お話しさせていただく予定です。

入場無料
申し込み
不要

- 共催：環境・情報科学科グリーンセミナー
- 協力：生命環境科学研究科 材料設計学研究室
- 対象：本学学生、院生、教職員
- お問い合わせ：男女共同参画推進室

Tel: 075-703-5143

E-mail: danjo@kpu.ac.jp

